

第 19 回 中小企業景況調査 (平成 20 年 10 月 12 月)

《調査結果の要約》

中小企業の業況は、一段と悪化しています。

- ・全業種の業況判断 DI は、マイナス幅が拡大しました。(28.4 37.2)
- ・業種別にみると、以下のとおりです。
 - 3 カ月前から好転 : 小売業 (最寄品)
 - 3 カ月前より悪化 : 製造業、建設業、小売業 (買回品)、飲食業、サービス業

1. 全業種の業況判断 DI は、 37.2 (3 カ月前と比べ 8.8 ポイント) となり、5 期連続してマイナス幅が拡大しています。
2. 設備投資件数は、21 件 (3 カ月前と比べ 4 件) となりました。1 年前の 35 件との比較では 14 件減少しました。
3. 経営上の問題点 (回答社数に対する比率) は、 需要の停滞 : 73% (3 カ月前と比べ + 18 ポイント) (88 社)、 販売単価の低下・上昇難 : 27% (3 カ月前と比べ + 7 ポイント) (33 社)、 利用者ニーズの変化 : 25% (3 カ月前と比べ + 9 ポイント) (30 社) の順です。

トピックス

- ・国内全産業の業況判断 DI は、 42.0 (3 カ月前と比べ 6.1 ポイント) となり、11 期連続してマイナス幅が拡大しています。
- ・神奈川県全産業の業況判断 DI は、 56.0 (3 カ月前と比べ 9.2 ポイント) となり、マイナス幅が拡大しています。業種別では、商業・サービス業、製造業、建設業すべてでマイナス幅が拡大しています。

* 国内は、独立行政法人 中小企業基盤整備機構、神奈川県は財団法人 神奈川産業振興センターの調査報告書から抜粋

《調査要領》

1. 調査時点：平成21年1月現在
2. 調査対象：鎌倉市内の中小企業、特に小規模企業（製造業・建設業・小売業（最寄品）・小売業（買回品）・飲食業・サービス業）の中から150企業を抽出

	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業	合計
			最寄品	買回品			
調査件数	15	15	23	30	37	30	150
回答数	14	13	19	23	29	23	121
回答率	93.3%	86.7%	82.6%	76.7%	78.4%	76.7%	80.7%

3. 調査方法：郵送によるアンケート方式（一部経営指導員による聞き取り）

4. 調査項目

- (1). DIの状況について

自社の業況 売上額 資金繰り 採算 従業員数

- (2). 設備投資について

- (3). 経営上の問題点について

5. 調査データについて

- (1). DI：Diffusion Index（デフュージョンインデックス・景気動向指数）の略。

各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値で、企業の景況感の判断に使用する指数。

- (2). データは当該期間（四半期ごと）と、その前年同期および向こう3カ月の見通しを対比したものです。

- ・ 四半期；1年の4分の1、すなわち「3カ月間」

- ・ 前期比；3カ月前との比較

- ・ 前年同期比；1年前との比較

<DI計算例>

「やや増加」・「やや好転」50% 「変わらず」20% 「やや悪化」・「やや減少」30% の場合、次のような計算になります。

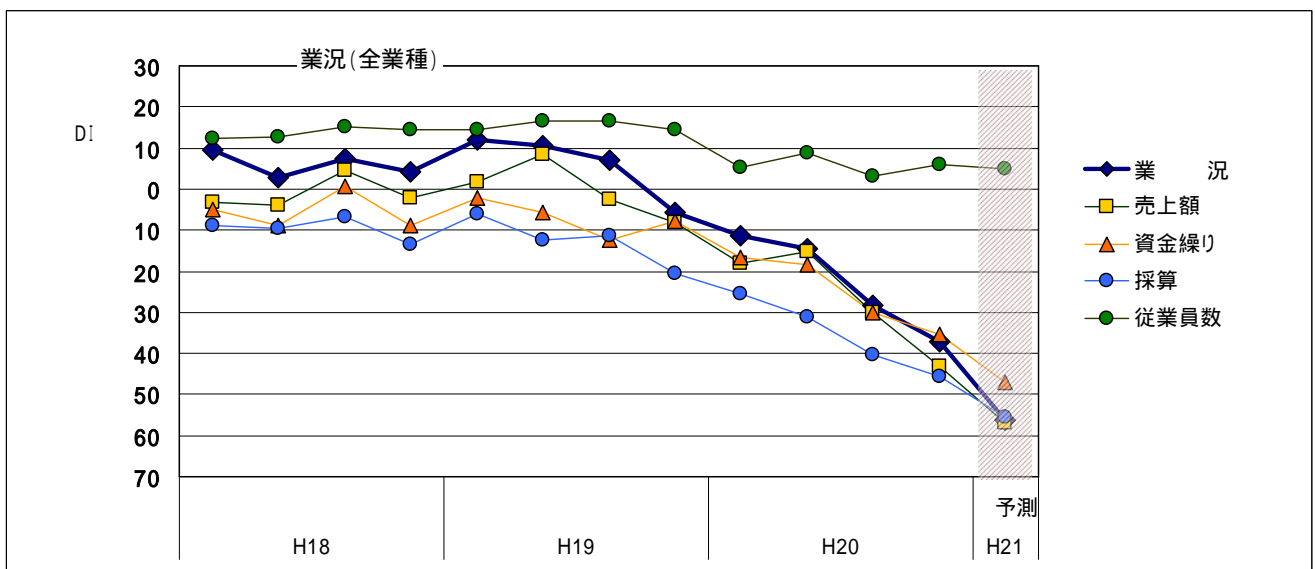
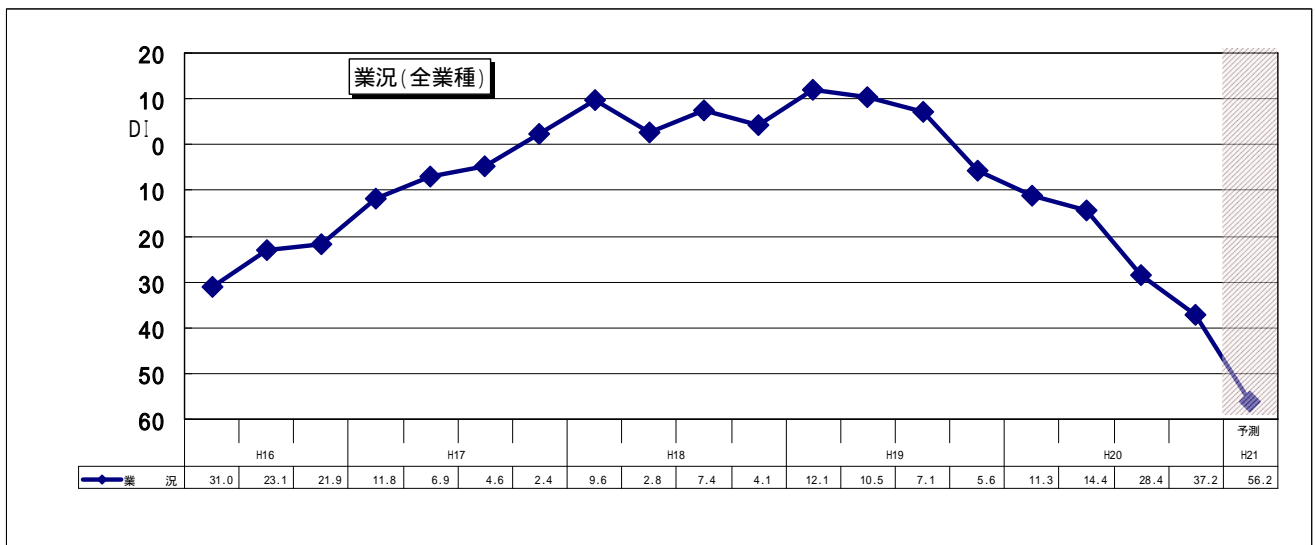
$$DI = 50 - 30 = 20$$

《調査結果》

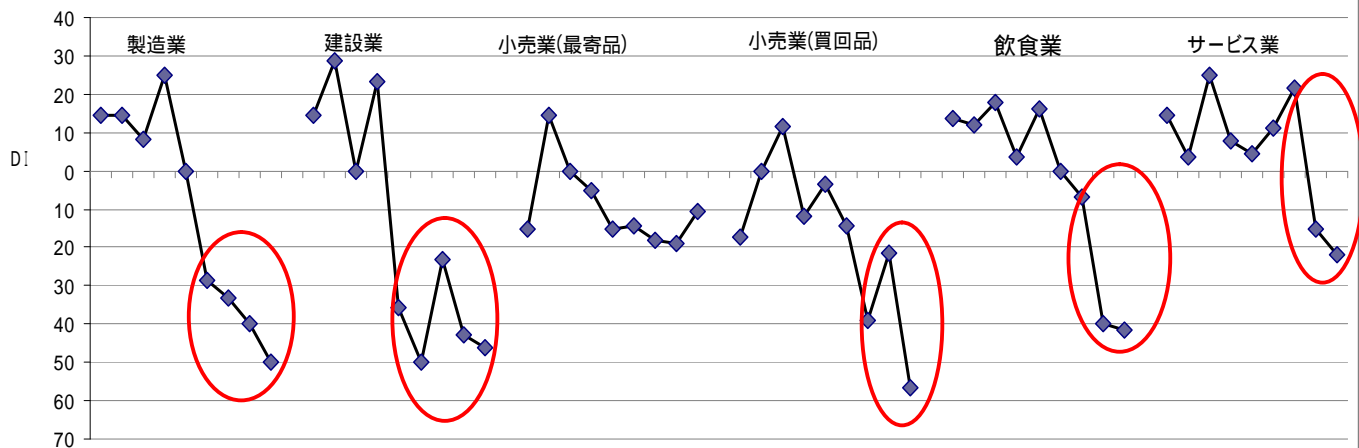
. 全業種

業況 DI

- ・全業種の業況判断 DI は 37.2(前期比 8.8 ポイント)と5期連続してマイナス幅が拡大しています。3ヵ月先は 56.2とマイナス幅が拡大の見通しです。
 - ・売上 DI は 43.0(前期比 13.1 ポイント)とマイナス幅が拡大しました。3ヵ月先は 57.0とマイナス幅が拡大の見通しです。
 - ・資金繰り DI は 35.5(前期比 5.6 ポイント)と9期連続してマイナス水準で推移しています。3ヵ月先は 47.1とマイナス幅が拡大の見通しです。
 - ・採算 DI は 45.5(前期比 5.2 ポイント)となり、19期連続してマイナス水準で推移しています。3ヵ月先は 55.4とマイナス幅が拡大の見通しです。
 - ・従業員数 DI は +5.8(前期比+2.8 ポイント)となり、わずかに人手不足感が増えています。
- ・業種別の業況判断 DI は、小売業(最寄品)以外の業種全てでマイナス幅が拡大しています。



業種別 業況判断DIの推移 (H18年10-12月期 ~ H20年10-12月期)



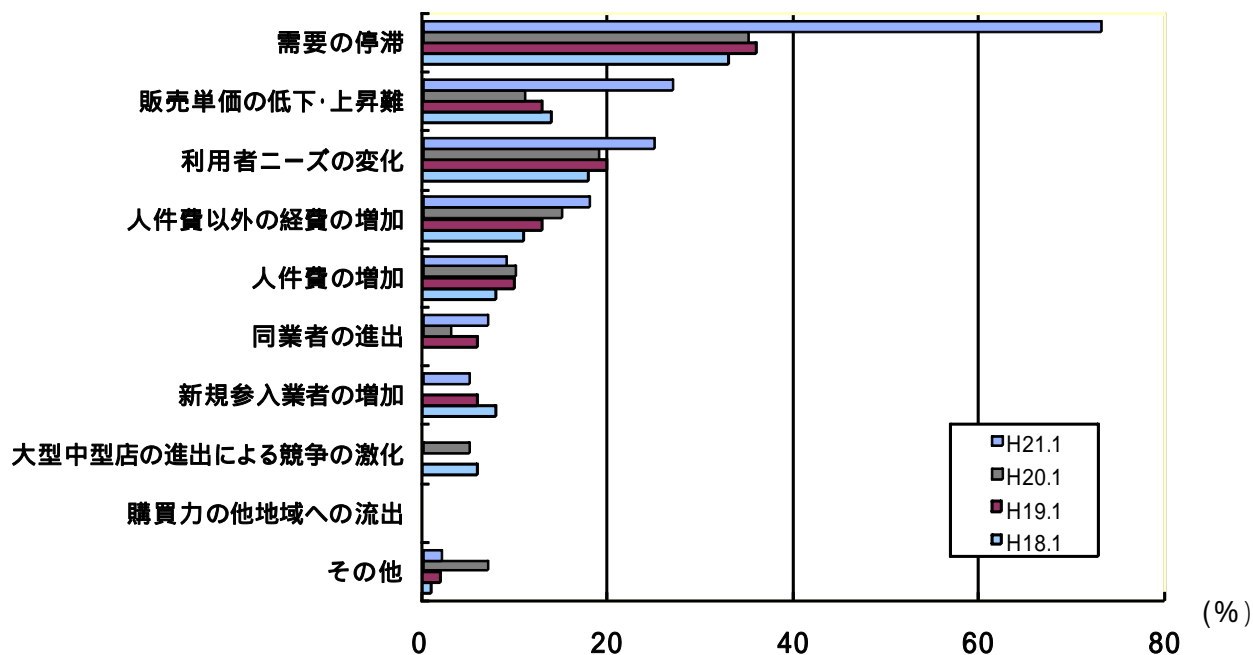
設備投資の動向

- ・設備投資件数は、21件(3ヵ月前と比べ4件)となりました。1年前の35件との比較では14件減少しました。内訳の上位は、車両運搬具7件、機械設備5件、OA機器4件です。

経営上の問題点

- ・経営上の問題点は、需要の停滞：73% (88社)、販売単価の低下・上昇難：27% (33社)、利用者ニーズの変化：25% ((30社)の順です。

経営上の問題点

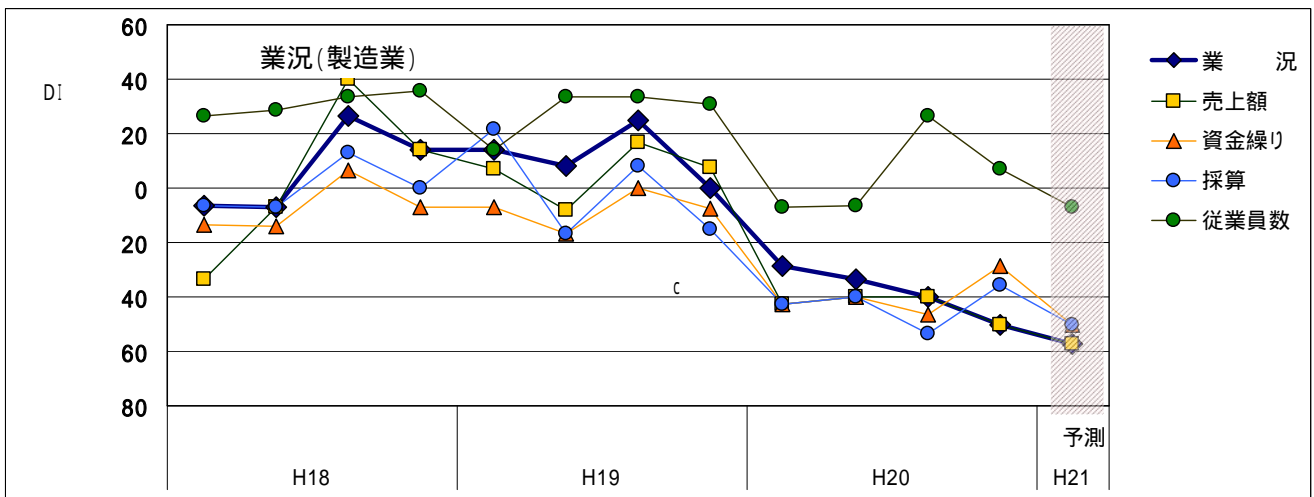


業種別

1. 製造業

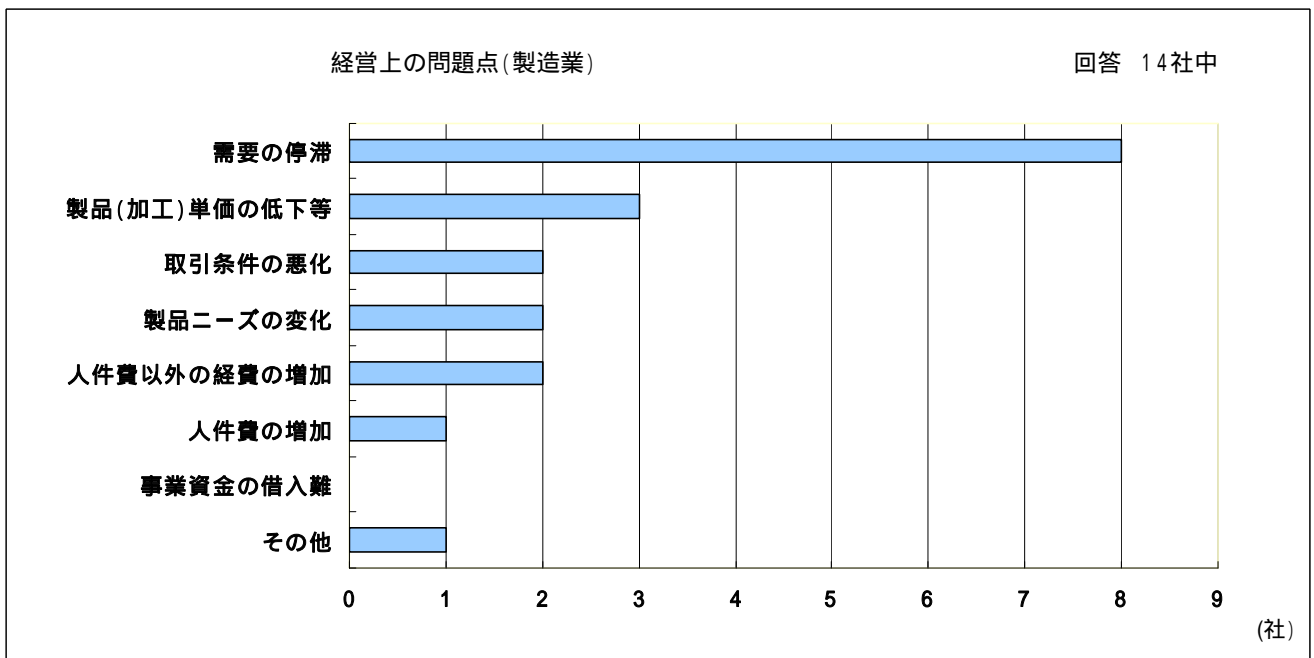
業況 DI

- ・業況判断 DI は 50.0 (前期比 10.0 ポイント) とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 57.1 とマイナス幅がさらに拡大の見通しです。
- ・売上 DI は 50.0 (前期比 10.0 ポイント) とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 57.1 とマイナス幅がさらに拡大の見通しです。
- ・資金繰り DI は 28.6 (前期比 +18.1 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 50.0 とマイナス幅が大幅に拡大の見通しです。
- ・採算 DI は 35.7 (前期比 +17.8 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 50.0 とマイナス幅が拡大の見通しです。
- ・従業員数 DI は +7.1 (前期比 19.6 ポイント) と人手不足感が緩和しています。



設備投資の動向 設備投資件数はO A 機器 1 件、車両運搬具 1 件など計 3 件です。

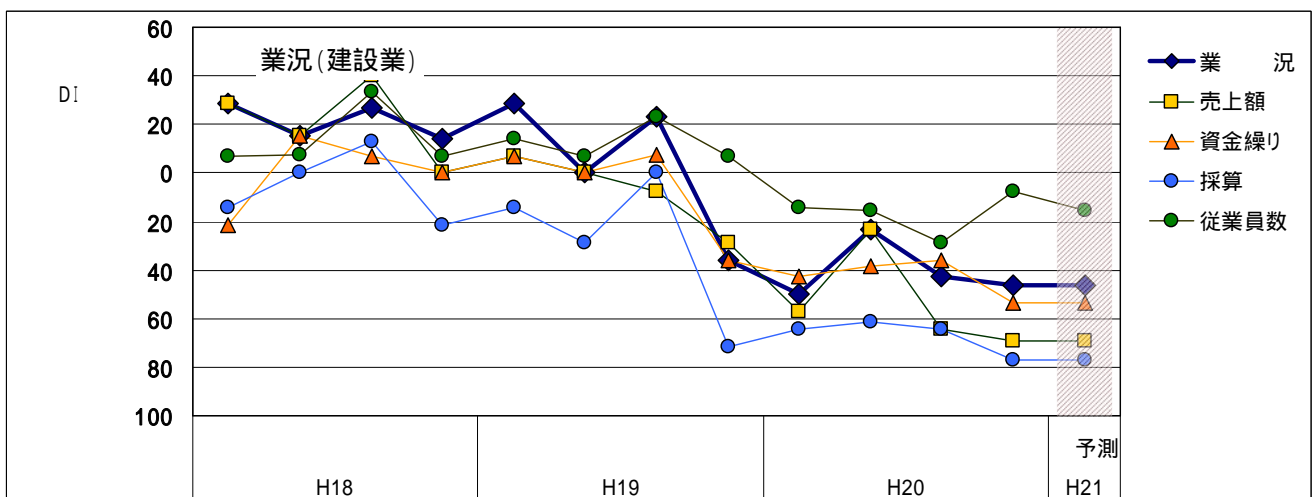
経営上の問題点



2. 建設業

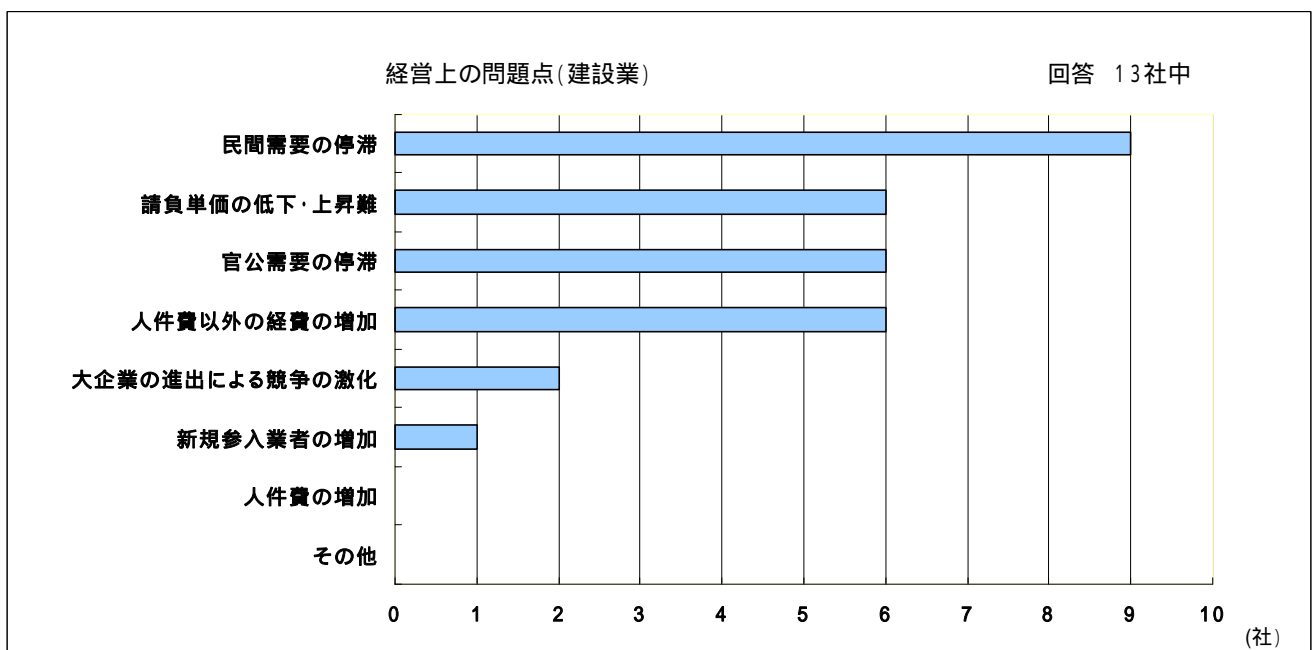
業況 DI

- ・業況判断 DI は 46.2 (前期比 3.3 ポイント) とわずかにマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 46.2 と横ばいの見通しです。
- ・売上 DI は 69.2 (前期比 4.9 ポイント) とわずかにマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 69.2 と横ばいの見通しです。
- ・資金繰り DI は 53.8 (前期比 18.1 ポイント) とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 53.8 と横ばいの見通しです。
- ・採算 DI は 76.9 (前期比 12.6 ポイント) と、ここ 5 期極めて低いマイナス水準で推移しており、3 ヶ月先は 76.9 と横ばいの見通しです。
- ・従業員数 DI は 7.7 (前期比 +20.9 ポイント) とマイナス幅が縮小し、過剰感が緩和しています。



設備投資の動向 設備投資件数は車両運搬具 2 件など計 3 件です。

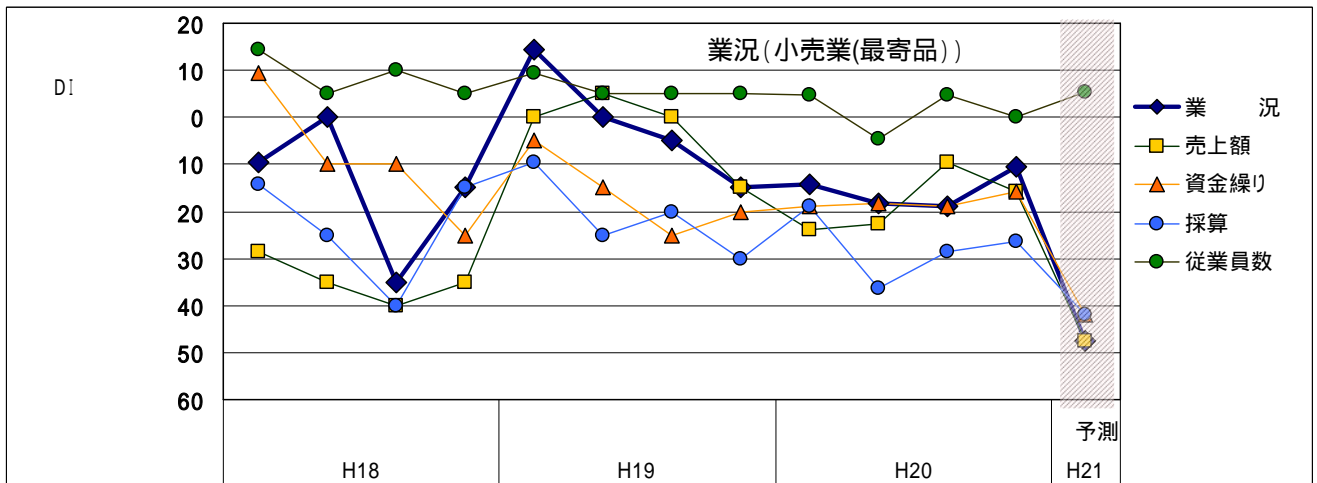
経営上の問題点



3. 小売業（最寄品）

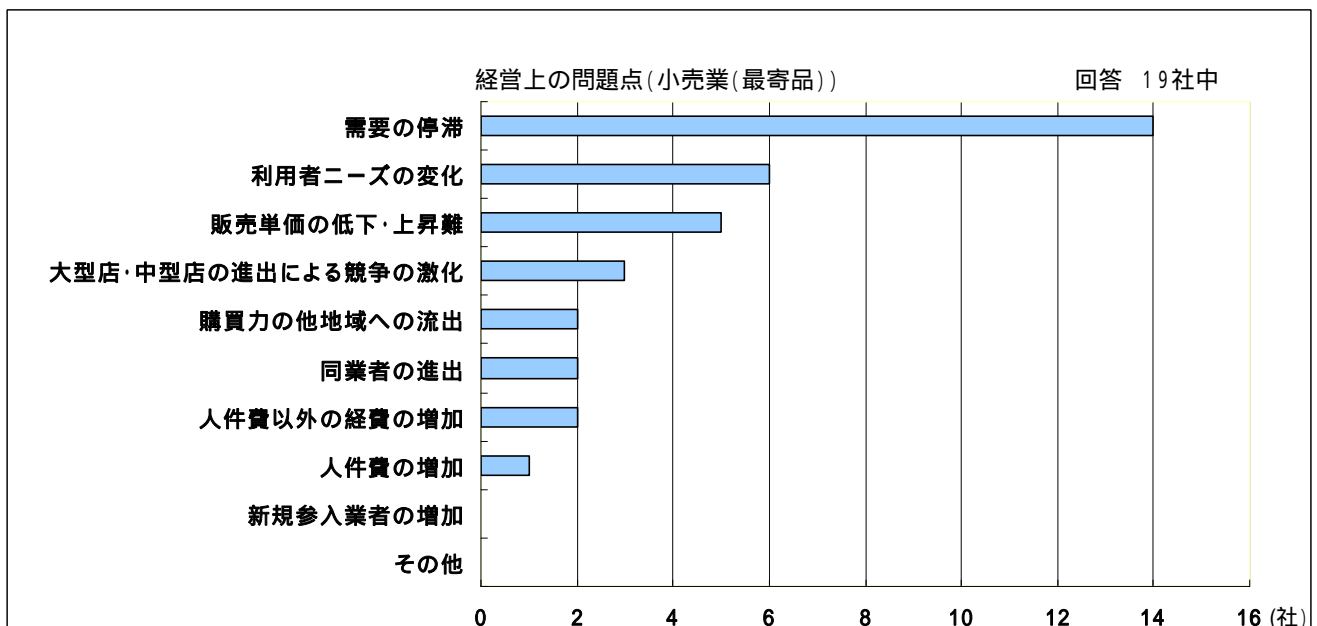
業況 DI

- ・業況判断 DI は 10.5（前期比+8.5 ポイント）とマイナス幅が縮小し、3 カ月先は 47.4 とマイナス幅が大幅に拡大の見通しです。
- ・売上 DI は 15.8（前期比 6.3 ポイント）とマイナス幅が拡大し、3 カ月先は 47.4 とマイナス幅が大幅に拡大の見通しです。
- ・資金繰り DI は 15.8（前期比+3.2 ポイント）とわずかにマイナス幅が縮小し、3 カ月先は 42.1 とマイナス幅が大幅に拡大の見通しです。
- ・採算 DI は 26.3（前期比+2.3 ポイント）とわずかにマイナス幅が縮小し、3 カ月先は 42.1 とマイナス幅が拡大の見通しです。
- ・従業員 DI は、±0.0（前期比 4.8 ポイント）とわずかに人手不足感が解消しました。



設備投資の動向 設備投資件数は、OA機器 1 件、建物 1 件で低迷しています。

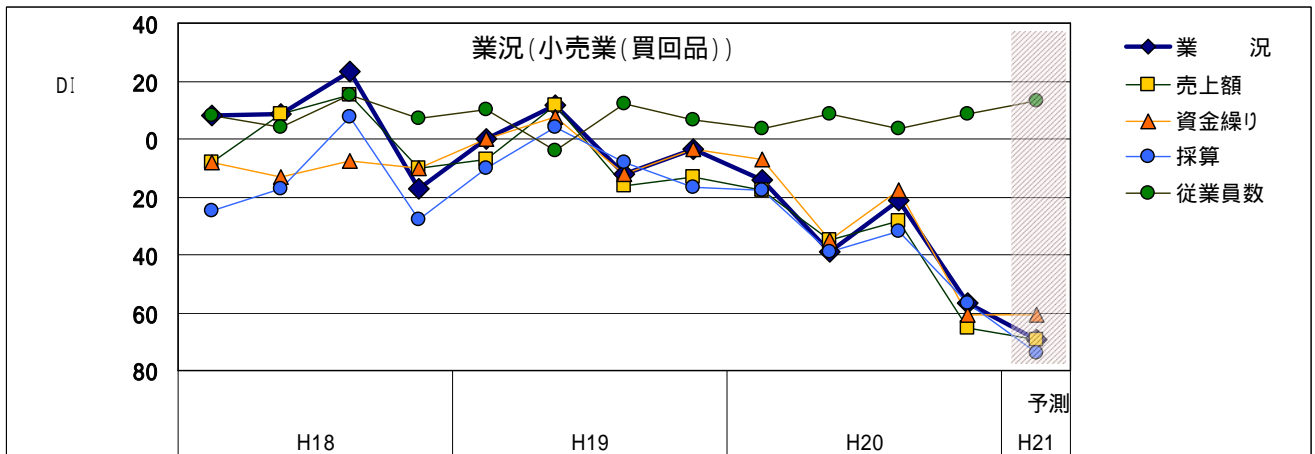
経営上の問題点



4. 小売業（買回品）

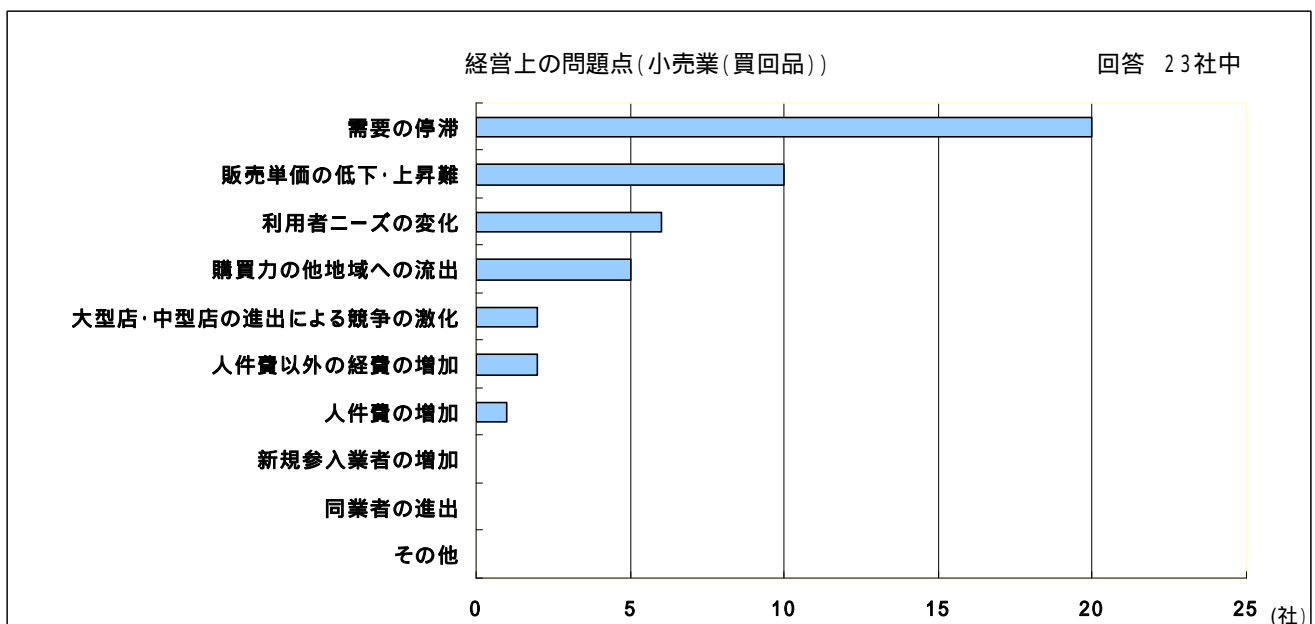
業況 DI

- ・業況判断 DI は 56.5(前期比 35.1 ポイント)とマイナス幅が大幅に拡大し、3 ヶ月先は 69.6 とさらにマイナス幅が拡大の見通しです。
- ・売上 DI は 65.2(前期比 36.6 ポイント)とマイナス幅が大幅に拡大し、3 ヶ月先は 69.6 とわずかにマイナス幅が拡大の見通しです。
- ・資金繰り DI は 60.9(前期比 43.0 ポイント)とマイナス幅が大幅に拡大し、3 ヶ月先は 60.9 と横ばいの見通しです。
- ・採算 DI は 56.5(前期比 24.4 ポイント)とマイナス幅が大幅に拡大し、3 ヶ月先は 73.9 とさらにマイナス幅が拡大の見通しです。
- ・従業員数 DI は +8.7(前期比 +5.1 ポイント)となり、人手不足感が強まっています。



設備投資の動向 設備投資件数は、OA 機器、機械設備、車両運搬具が各 1 件です。

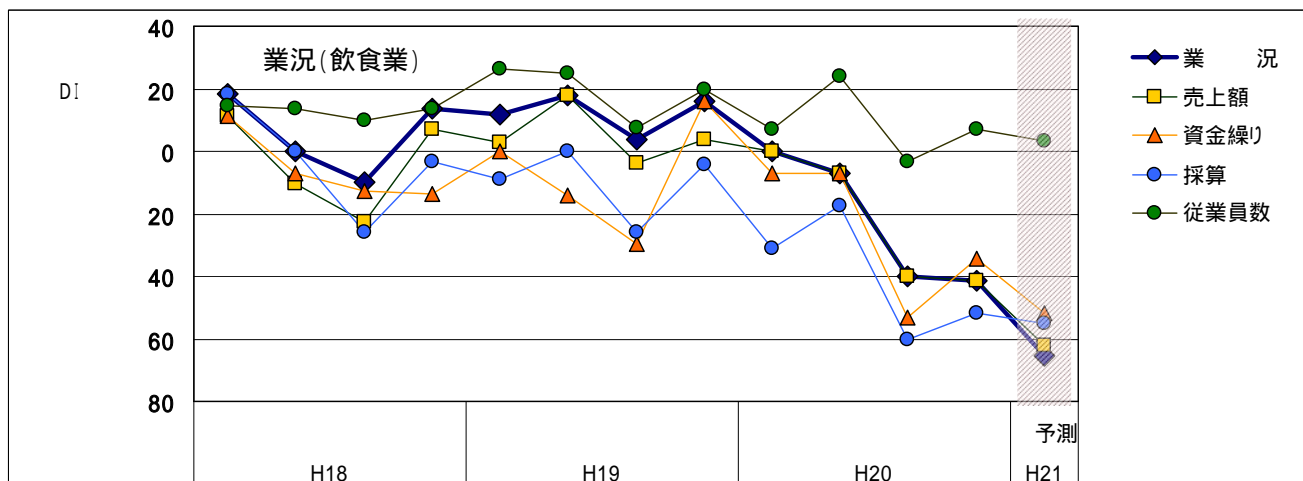
経営上の問題点



5. 飲食業

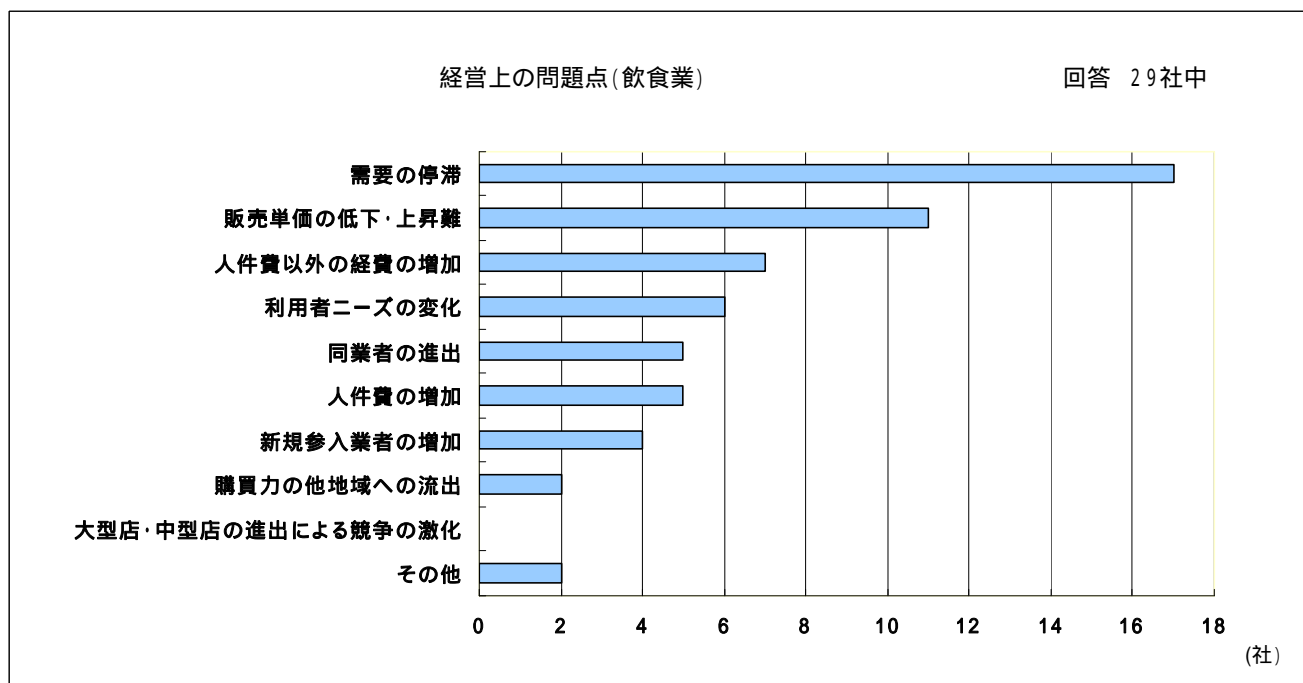
業況 DI

- ・業況判断 DI は 41.4 (前期比 1.4 ポイント) とマイナス幅がやや拡大し、3 ヶ月先は 65.5 とマイナス幅が大幅に拡大の見通しです。
- ・売上 DI は 41.4 (前期比 1.4 ポイント) とマイナス幅がやや拡大し、3 ヶ月先は 62.1 とマイナス幅が大幅に拡大の見通しです。
- ・資金繰り DI は 34.5 (前期比 +18.8 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 51.7 とマイナス幅が拡大の見通しです。
- ・採算 DI は 51.7 (前期比 +8.3 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 55.2 とマイナス幅が拡大の見通しです。
- ・従業員数 DI は +6.9 (前期比 +10.2 ポイント) となり、人手不足に転じています。



設備投資の動向 設備投資件数は、機械設備 2 件、建物 1 件など計 5 件です。

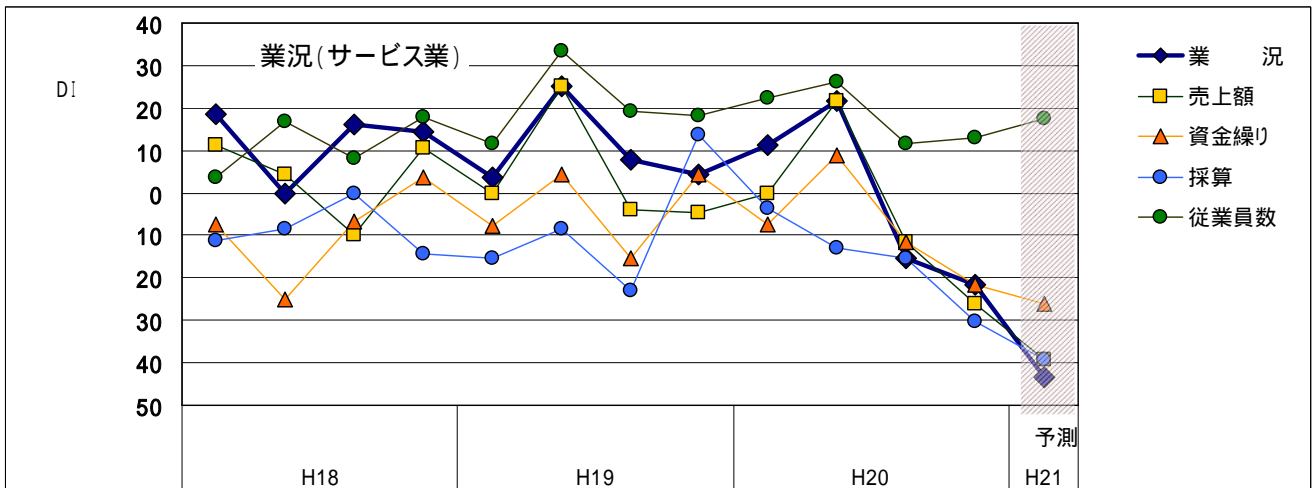
経営上の問題点



6. サービス業

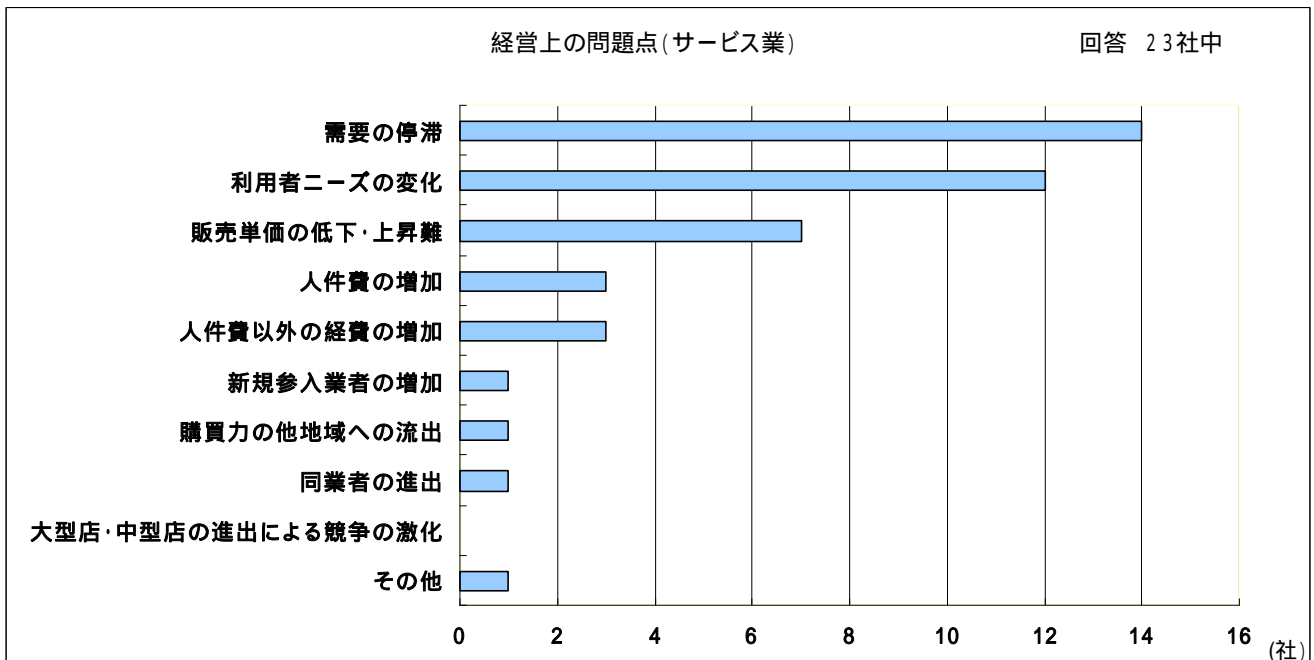
業況 DI

- ・業況判断 DI は 21.7 (前期比 6.3 ポイント) とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 43.5 とマイナス幅が大幅に拡大する見通しです。
- ・売上 DI は 26.1 (前期比 14.6 ポイント) とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 39.1 とマイナス幅が拡大する見通しです。
- ・資金繰り DI は 21.7 (前期比 10.2 ポイント) とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 26.1 とマイナス幅が拡大する見通しです。
- ・採算 DI は 30.4 (前期比 15.0 ポイント) とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 39.1 とマイナス幅が拡大の見通しです。
- ・従業員数 DI は +13.0 (前期比 +1.5 ポイント) となり、人手不足感がやや増えています。



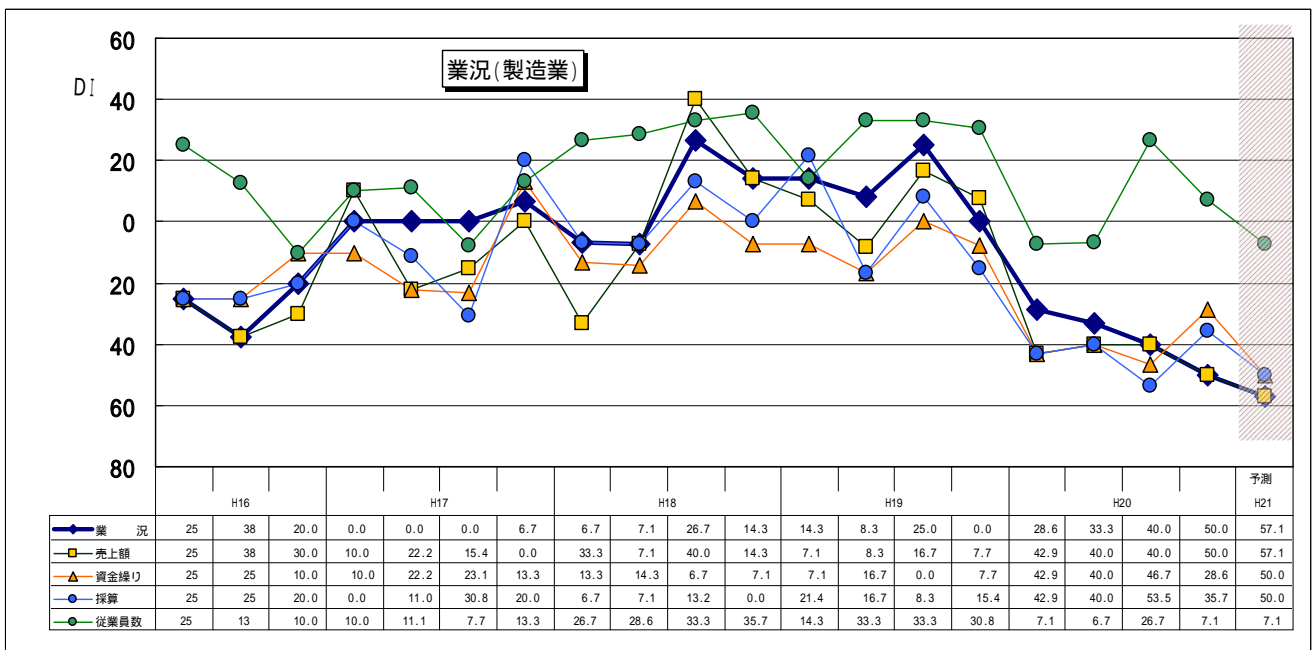
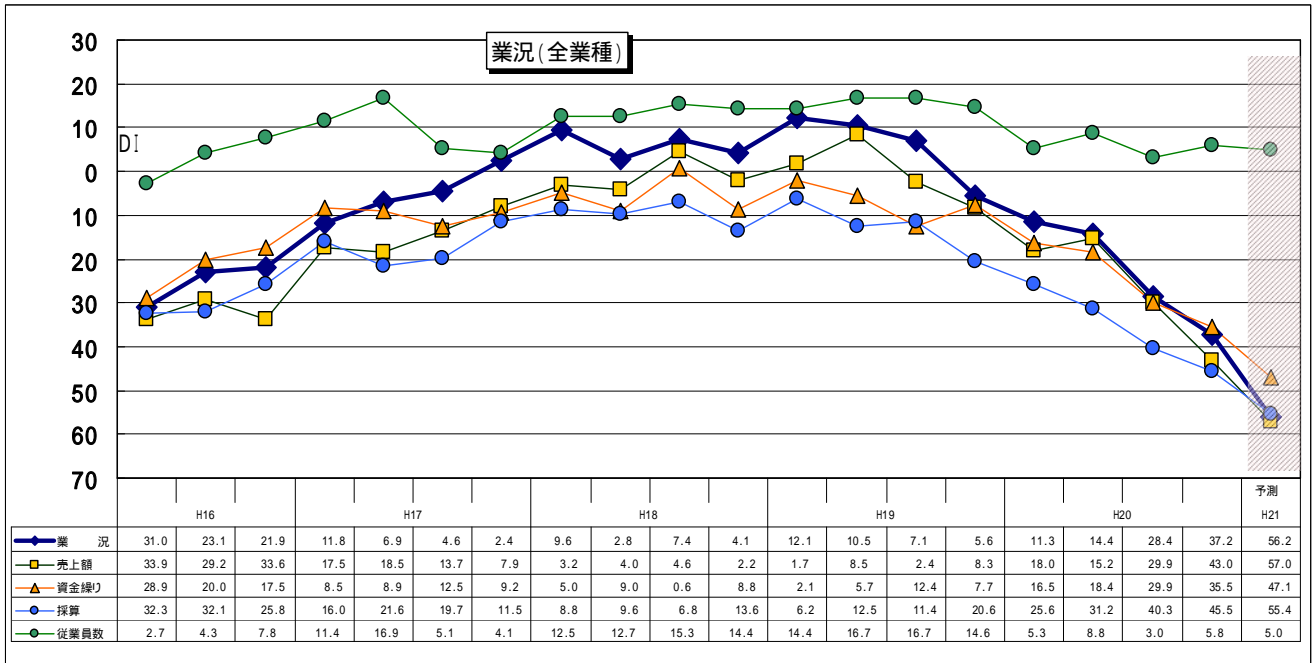
設備投資の動向 設備投資件数は、機械設備 2 件、車両運搬具 2 件など計 5 件です。

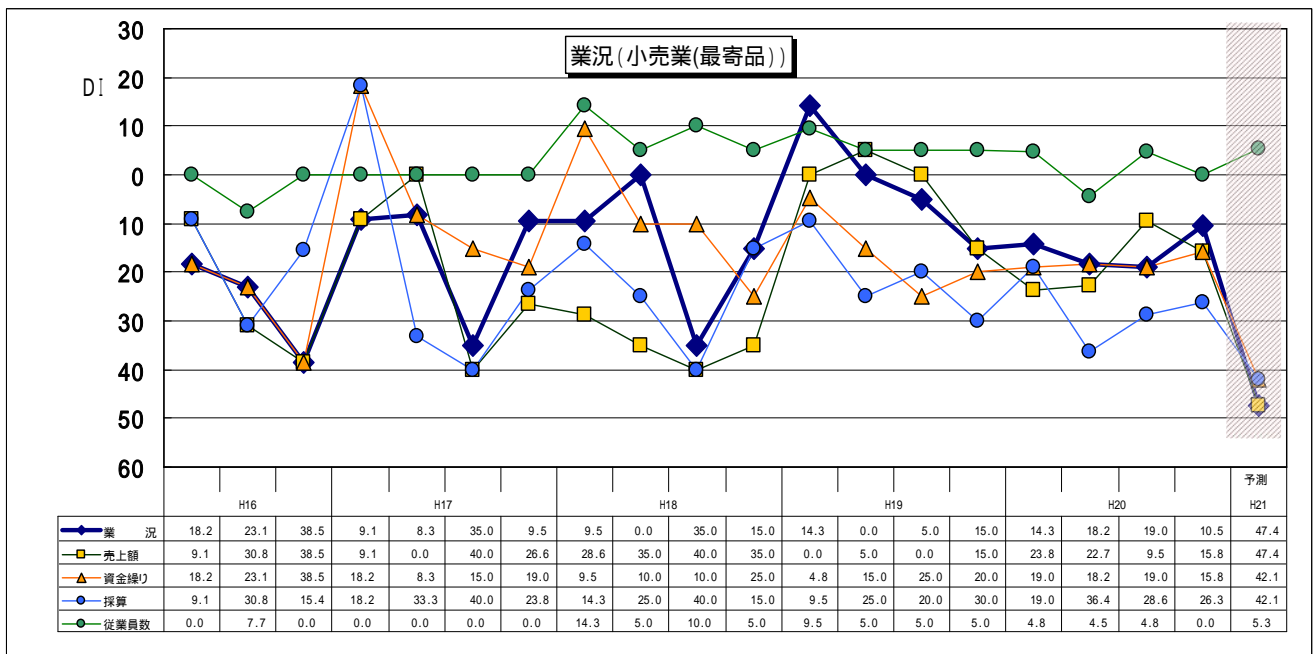
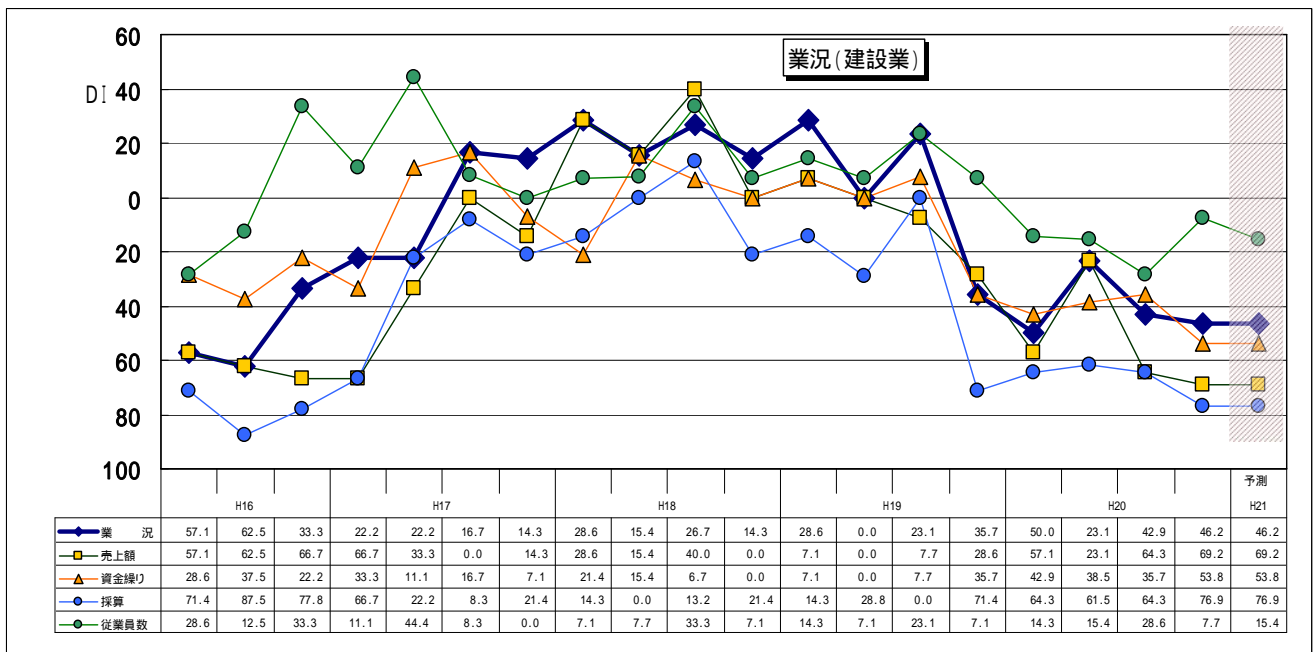
経営上の問題点

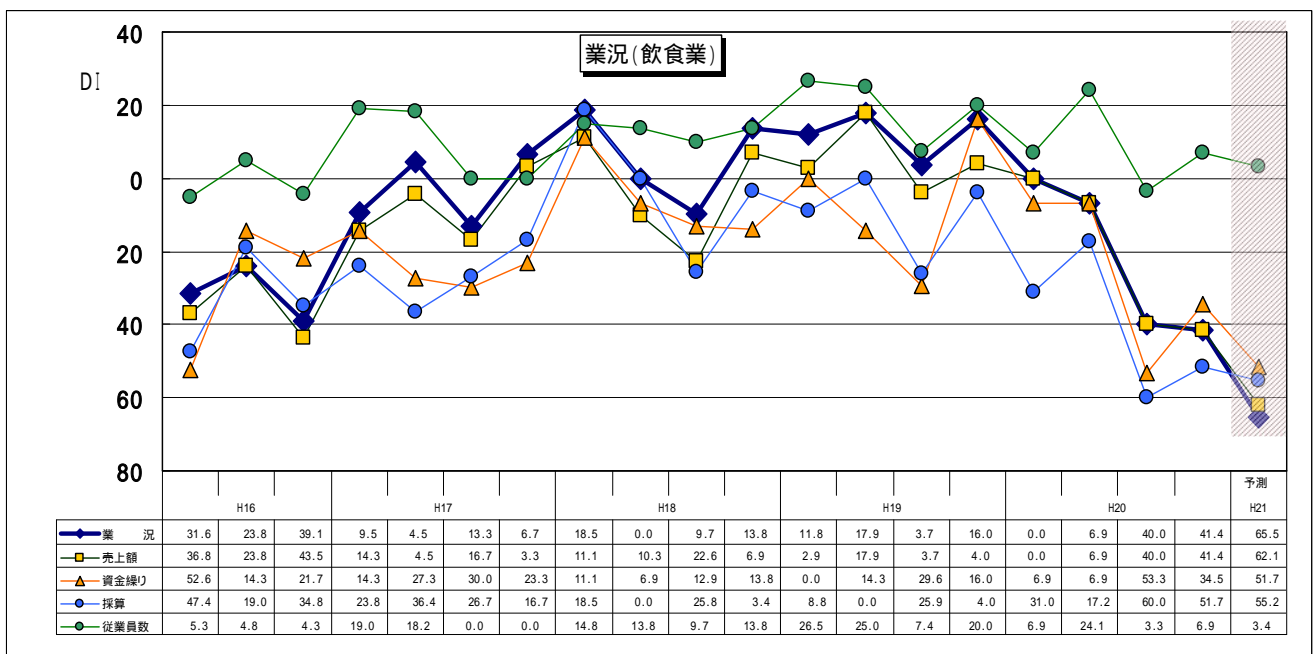
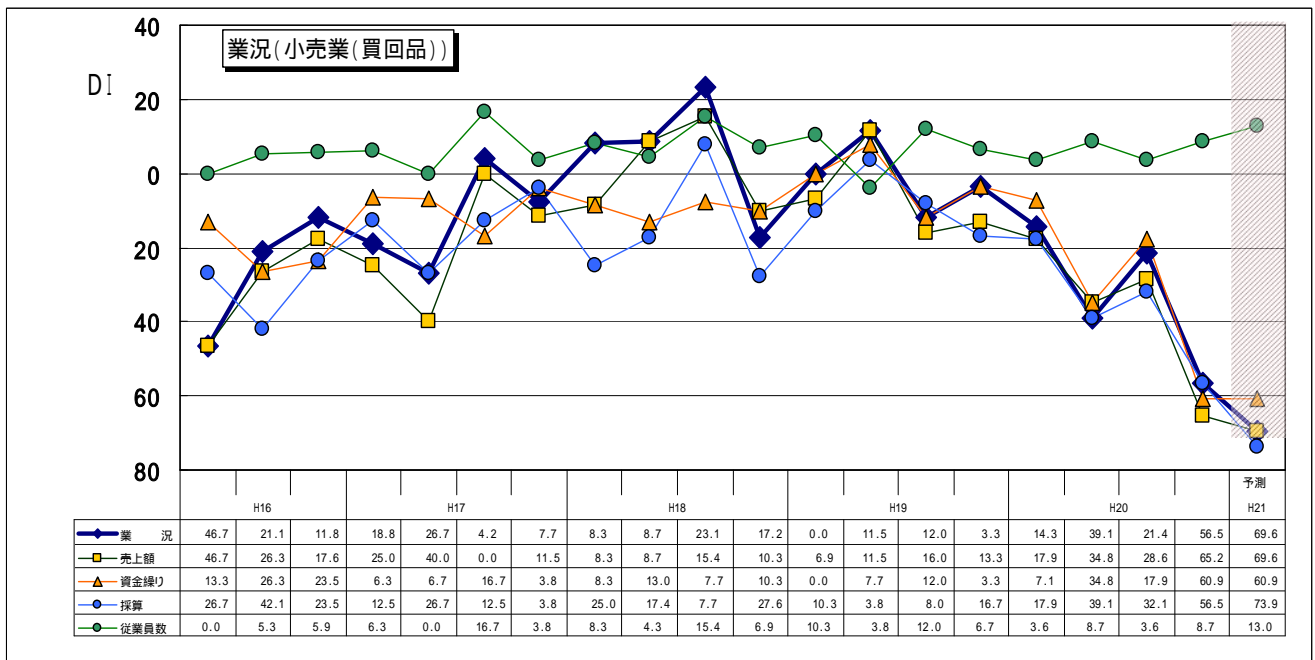


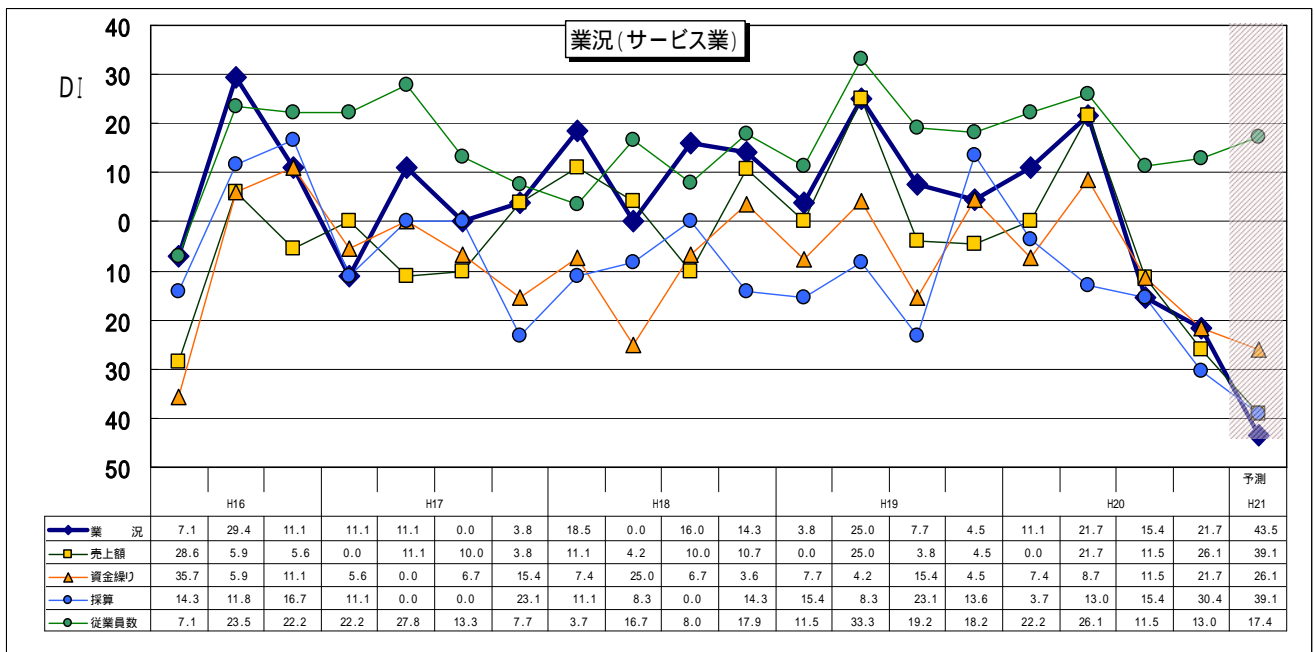
《資料》

.業況









《雑談コラム》

今回の金融危機から発した不況はまったく先が見えません。特に輸出関連の製造業がひどくなっています。問題はこの世界経済の悪化がいつ底を打つのかという予測です。最も楽観的な予測は年内にも底打ちするだろうというもの。そして、最も多いのが、1,2年以内だろうというもの。そして、底打ちには何年もかかるだろうという悲観論もあります。悲観論の根拠は“ バランスシートの罫 ”、これは資産価値の下落 債務超過 企業間取引の減少 生産性の低下、という具合に下落の連鎖反応が繰り返し起こるといふもの。日本人は悲観的になりやすいといわれています。ここは過度の議論に走らず、ドシッと構えてバランス感覚を保ちたいものです。曰く、市場原理はこれで終わった、金融資本主義は終わった、米国の一極集中時代は終わった。これら3つの終わりをいう人もいますが、バランス感覚をたもちながら、冷静にしかも自信をもって対処したいものです。

(TM 中小企業診断士)

設備投資

全業種	H16			H17				H18				H19				H20				H21
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ子別
OA機器	9	7	7	7	8	6	12	10	7	15	11	2	13	7	12	6	5	6	4	4
機械設備	2	3	3	2	7	11	11	8	5	9	10	3	10	8	11	9	5	8	5	4
車両運搬具	4	4	8	5	4	8	6	2	6	12	4	5	9	7	6	5	3	4	7	2
建物	1	2	0	1	2	4	4	4	5	6	9	4	3	6	4	6	3	5	2	1
付帯施設	4	2	4	3	4															
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		4	2	1	2	3	1	2	3	0

製造業	H16			H17				H18				H19				H20				H21
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ子別
OA機器	1	1	1	1			2	2	2	3	2		2		2	2	1	1	1	1
機械設備	1			1		1		1	1		2	1	1		1	2	0	0	0	2
車両運搬具					1	3								1		0	0	0	1	0
建物							1	1						1		1	0	0	0	0
付帯施設				1	1															
その他														1	0	0	0	1	0	0

建設業	H16			H17				H18				H19				H20				H21
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ子別
OA機器	2	1	2	1	1	1	3	2	1	3			2	1	1	0	0	0	0	1
機械設備			1				2	2					1		1	0	0	1	0	0
車両運搬具	1	2	3	1		3	2	1	4			1	4	2	2	2	0	1	2	1
建物							1	1		1	1	1	1	1		1	0	1	0	0
付帯施設				1	1															
その他												1			1	1	0	0	1	0

小売業 (服・食品)	H16			H17				H18				H19				H20				H21
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ子別
OA機器	2	1			2	2		1		1	1	1	3	2	3	2	1	1	1	0
機械設備		1	1		1	3	1	2	1	1	1	1	3	1	2	1	1	3	0	0
車両運搬具						1	1	1	2	3	2	1	1	1	3	1	1	1	0	0
建物	1	1			1	2	1	1	1	2	2	1			1	0	2	1	1	0
付帯施設		1	1																	
その他															0	0	0	0	0	0

小売業 (買回品)	H16			H17				H18				H19				H20				H21
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ子別
OA機器		3	2	1	1	1	3	3	3	4	3				0	0	1	1	0	
機械設備					1			1			1				1	1	0	0	1	0
車両運搬具	1	1	3	1	1					2	1	2			1	1	0	1	0	
建物		1		1	1						1	1	2		1	1	0	0	0	
付帯施設	1																			
その他													2		0	0	1	0	0	

飲食業	H16			H17				H18				H19				H20				H21
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ子別
OA機器	2			1	1					3	2	1	2	1	1	0	0	1	0	
機械設備	1	2	1		4	6	6	2	2	4	4		4	6	5	5	4	3	2	
車両運搬具	1		1	1	1		1		2	3	1	1	2	1		0	0	1	1	
建物					1	1	1	1	3	4	3	1		4	2	3	1	2	1	
付帯施設	3		1		2															
その他								1		1	0	3			2	0	0	1	0	

サービス業	H16			H17				H18				H19				H20				H21
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ子別
OA機器	2	1	2	3	3	2	4	2	1	3	3	0	4	3	5	2	3	2	1	
機械設備				1	1	1	2		1	2	2	1	1	1	1	0	0	1	2	
車両運搬具	1	1	1	2	1	1	2			2			2	2	1	1	1	1	2	
建物						2					2					0	0	1	0	
付帯施設		1	2	1										1						
その他															0	1	1	0	0	